

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

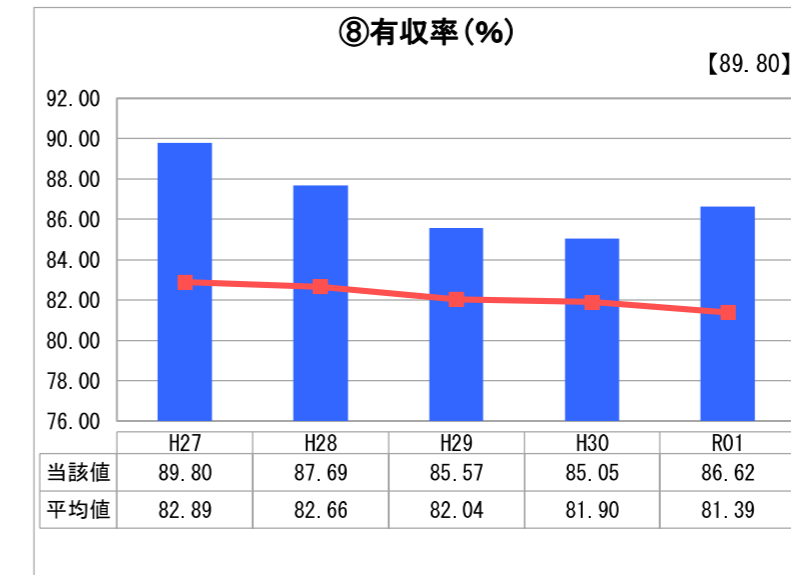
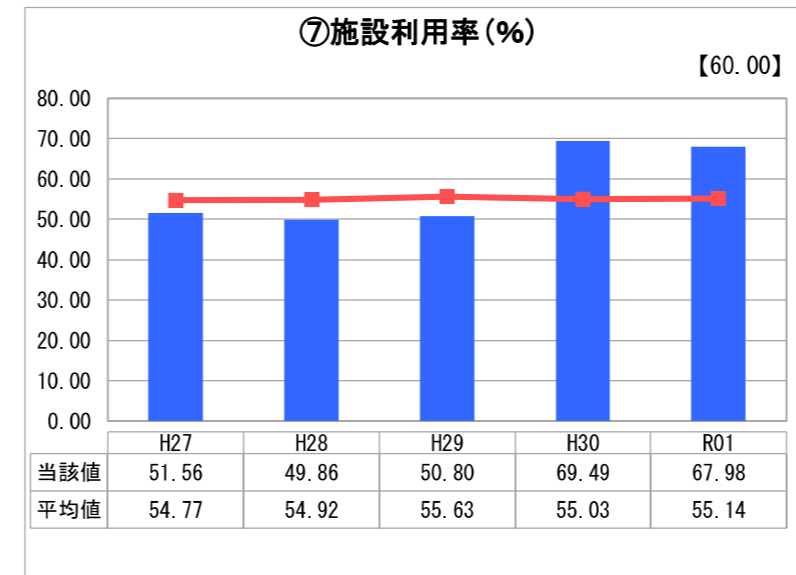
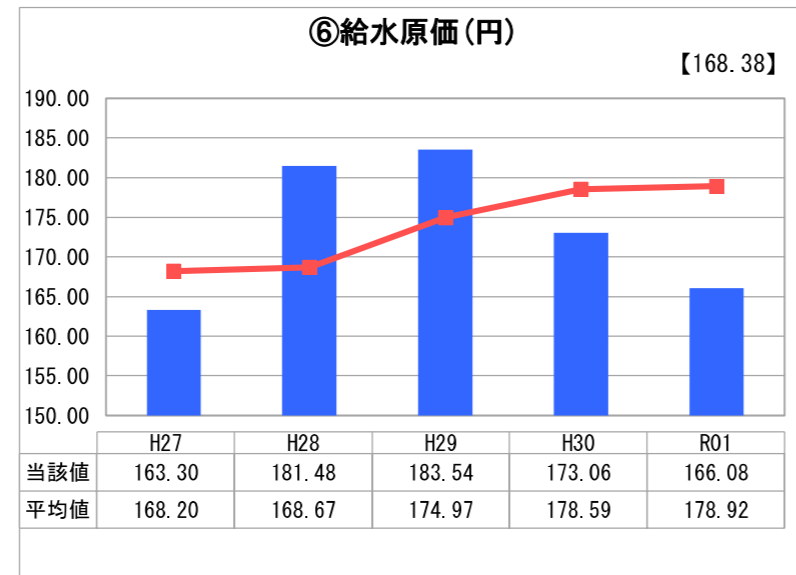
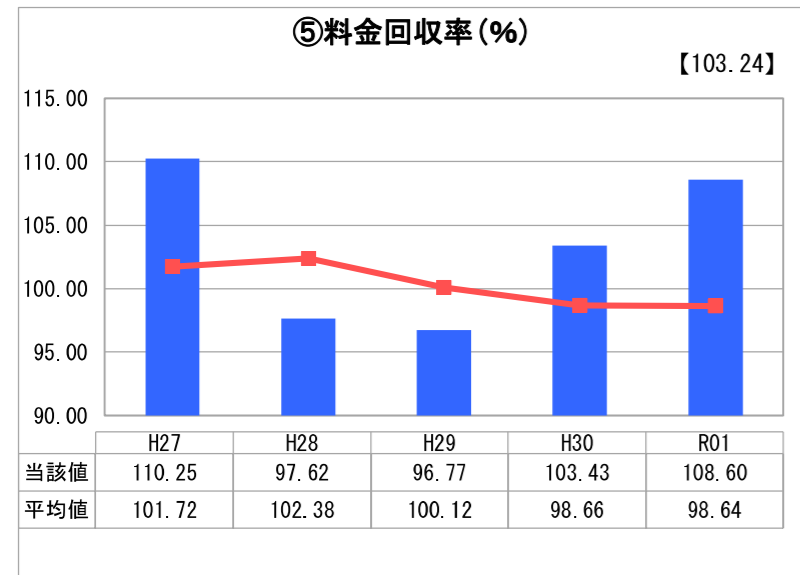
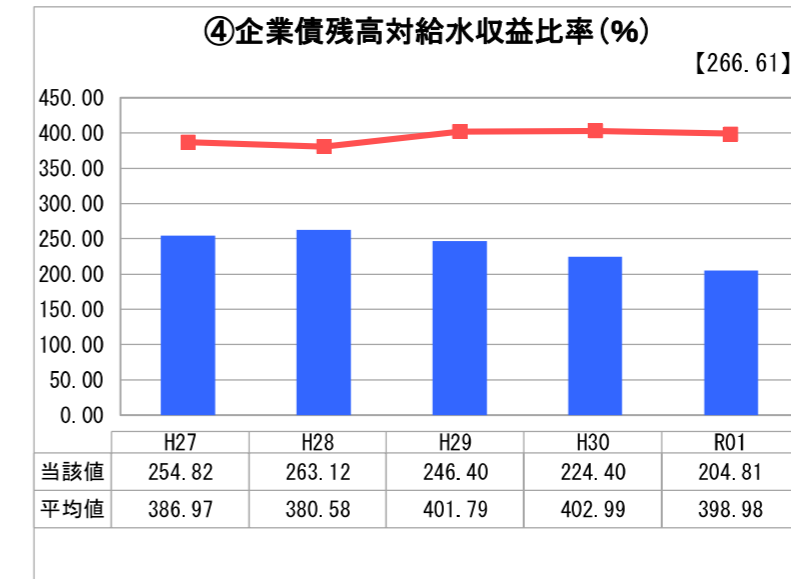
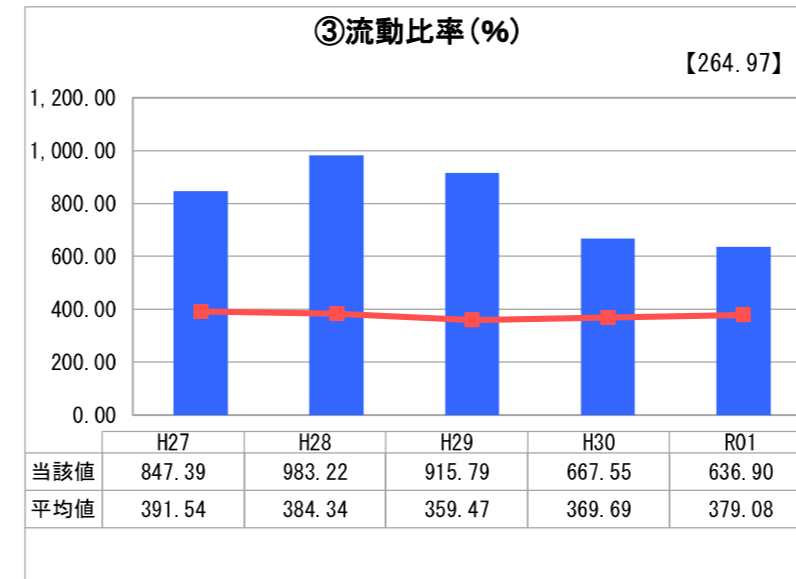
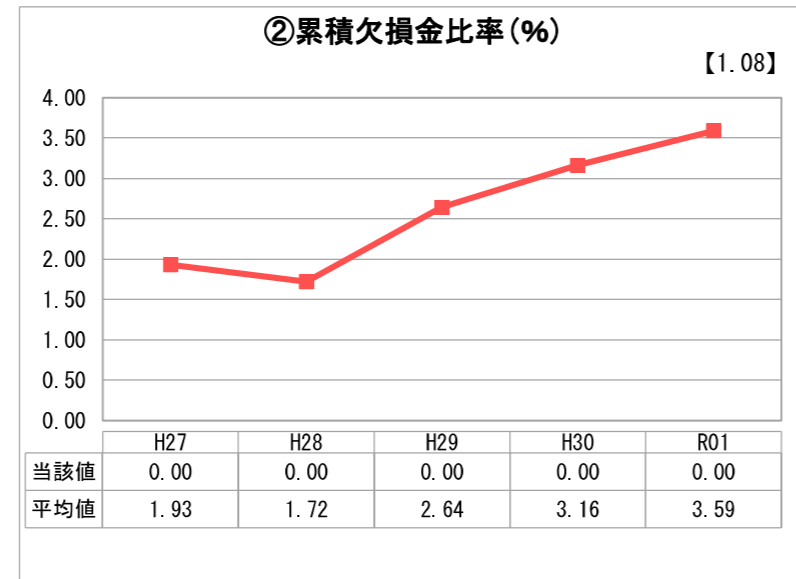
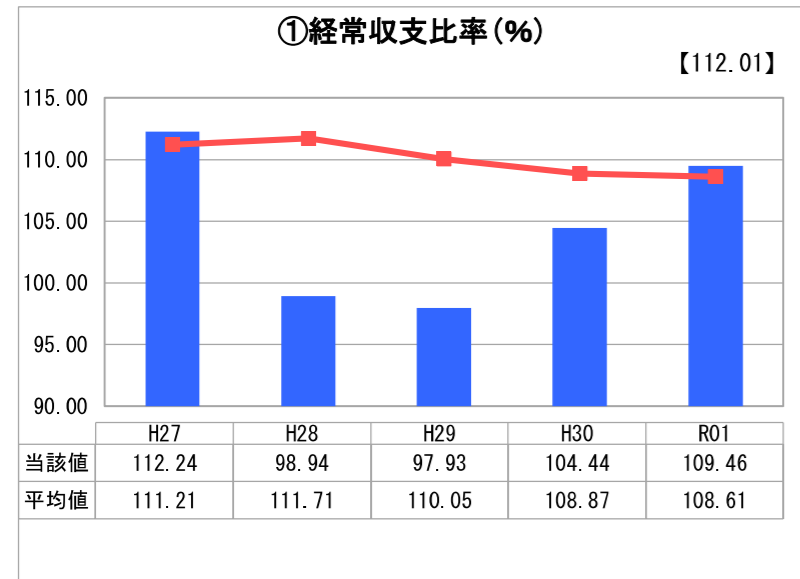
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	77.33	99.79	2,365	

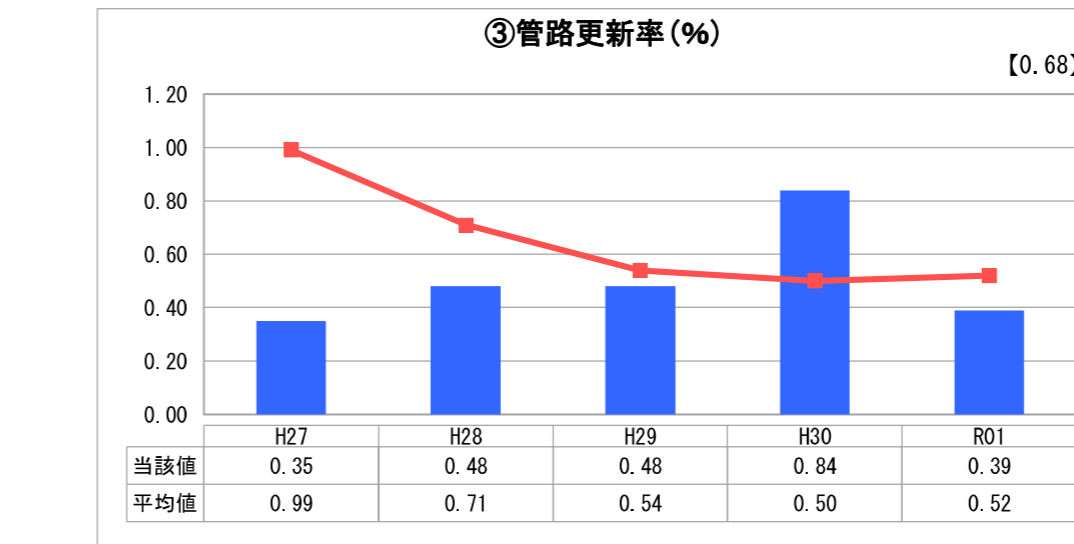
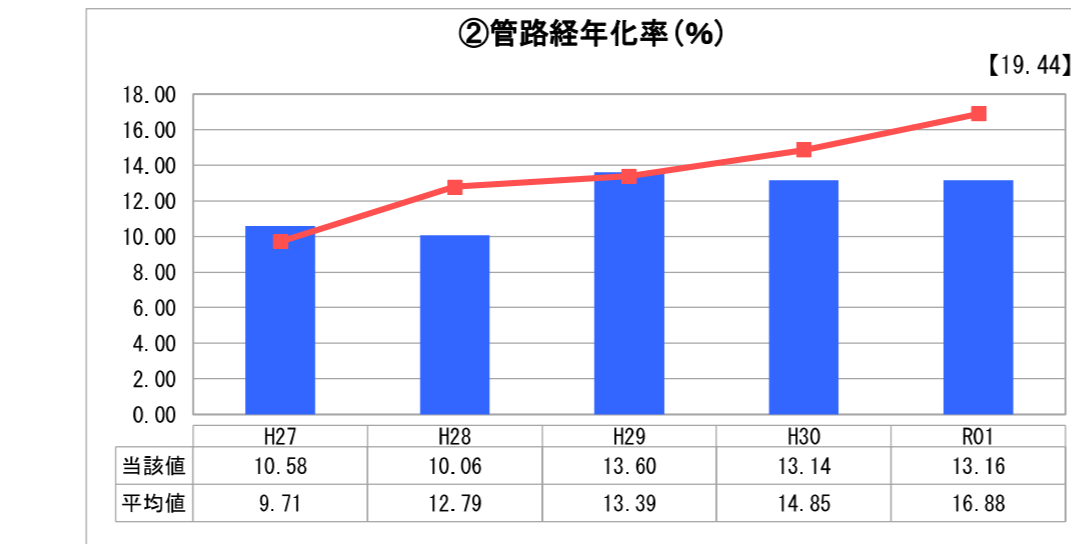
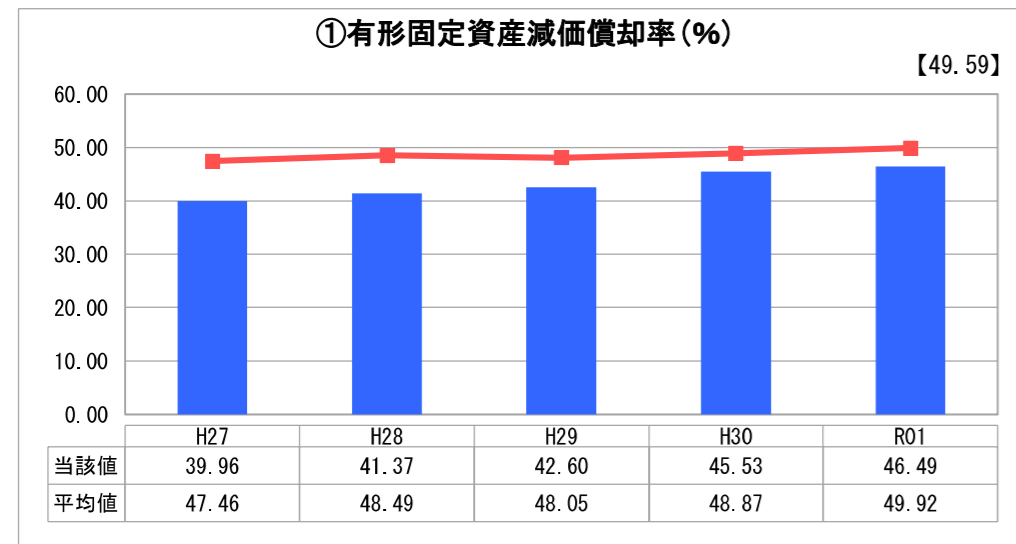
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,920	38.64	489.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,789	38.64	486.26

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率⑤料金回収率⑥給水原価  
 経常収支比率は、100%を上回り黒字となり、類似団体平均値を上回った。また長期前受金戻入が増加したことで、給水原価が減少したため、料金回収率が100%を上回ることができた。  
 ③流動比率  
 100%を大きく上回っていることから、短期的な債務に対する支払い能力が高いと言えるが、建設改良工事費等の増加により、現金等の流動資産が減少しているため下降傾向にある。  
 ④企業債残高対給水収益比率  
 企業債の借入れを行わず、着実に企業債残高を減らしているため下降傾向にある。これは、設備投資の財源として企業債に依存することなく、内部留保資金とのバランスがとれていると言える。  
 ⑦施設利用率⑧有収率  
 施設利用率は、使用水量の減少により、一日の平均配水量が減少したため、利用率が低下している。有収率は上昇し、類似団体平均値を上回っているが、漏水等の無効水量をさらに減少させ有収率をより上げていくことが重要と考える。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
 類似団体を下回っているが、緩やかに上昇している。今後も経年による施設全体の老朽化が進み、上昇する見込みである。  
 ②管路経年化率③管路更新率  
 平成28年度からアセットマネジメント計画に基づき、老朽管及び耐震化の更新を進めている。今年度は、前年度と比較し更新距離は増加しているものの、管路経年化率の減少には至っていないため、老朽化が進みつつある。今後も計画に基づき、継続して更新していく。

### 全体総括

経常収支比率は、収益が増加し、修繕費や委託料の減少により費用が減少したことで100%を上回った。しかし、建設改良工事費等の増加により、資金残高が減少傾向にあるため、経営の健全性・効率性としては、未だ良好とは言えない。今後は大口の使用水量の動向を注視するとともに、企業債の借入れ、適切な施設の維持管理、施設規模の見直し等を検討していく。また、来年度も有収率の改善に向けて、アセットマネジメント計画に基づいた老朽管の更新及び耐震化の促進に努めるほか、漏水調査を実施していく。  
 今後も、本町の水道事業ビジョンに掲げる基本理念である「より安全・安心で しあわせを守る みんなの水道水」を目標に、安全な水道水と安定供給の確保のため、より一層の経営基盤の強化を図っていく。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

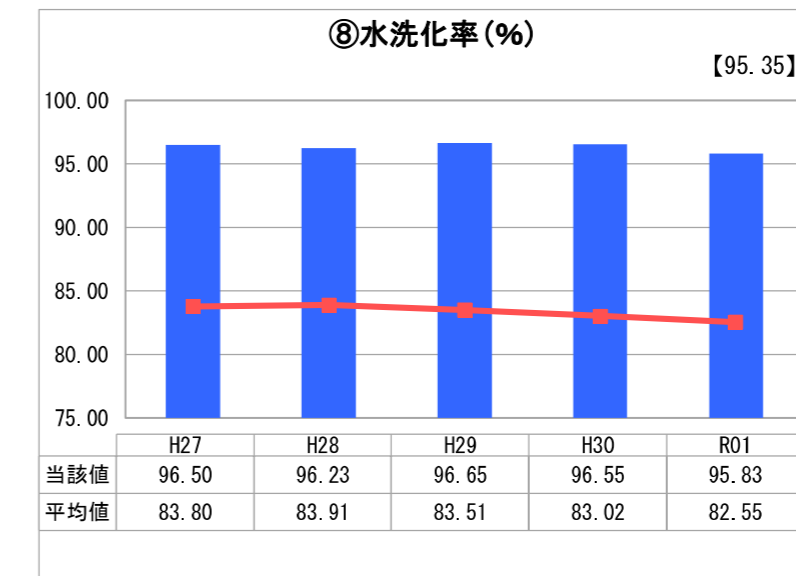
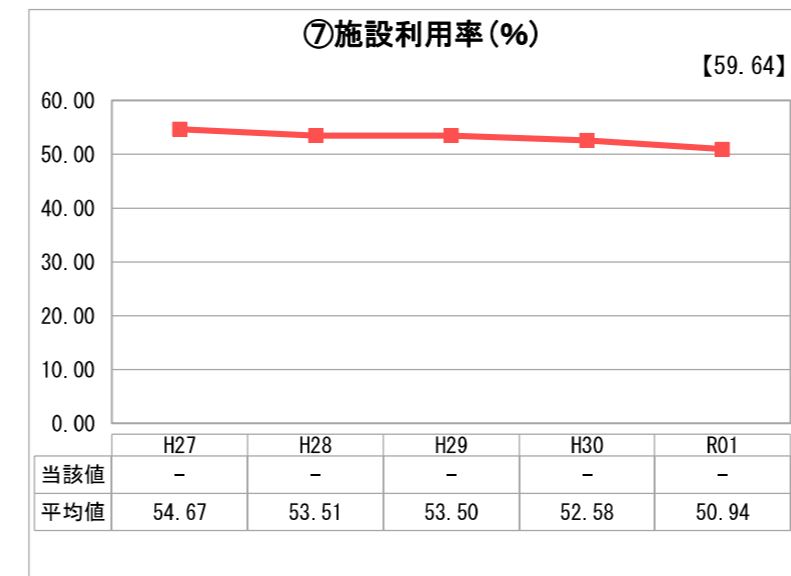
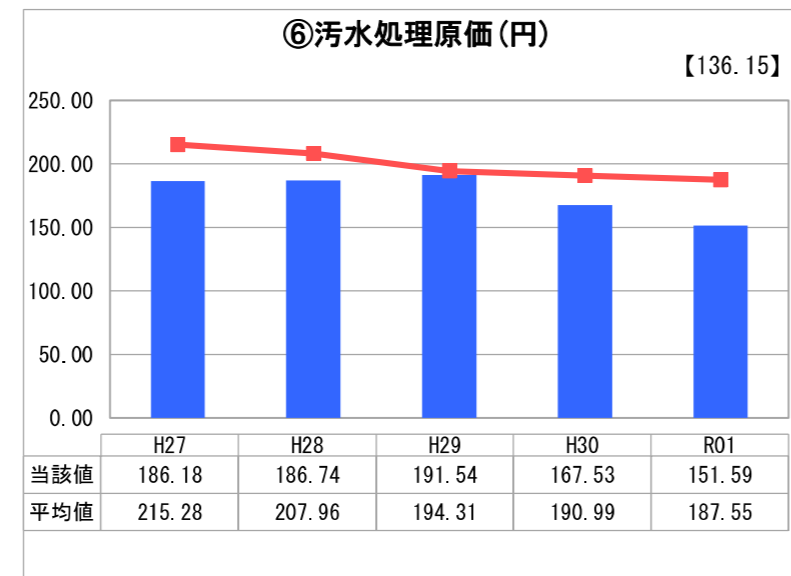
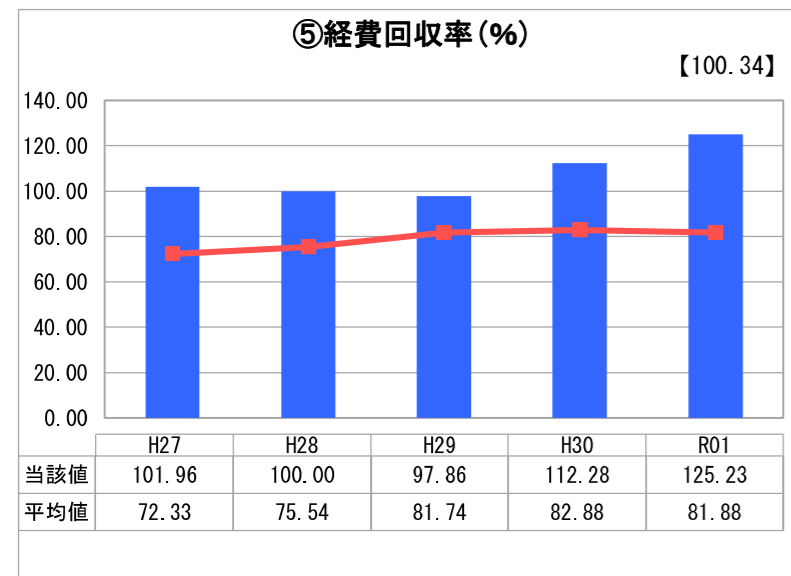
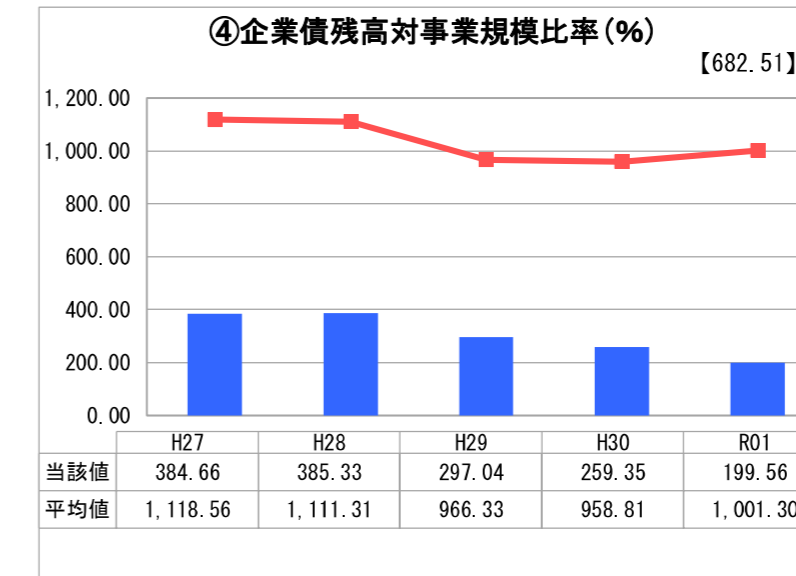
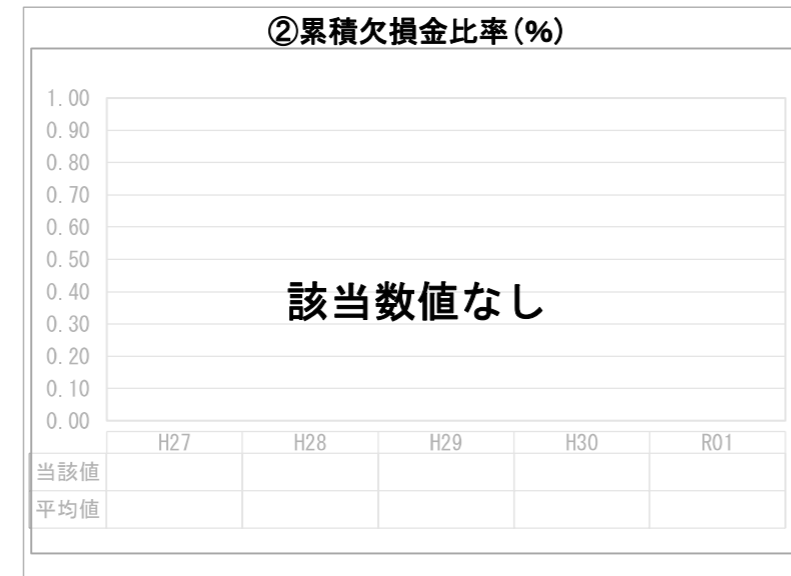
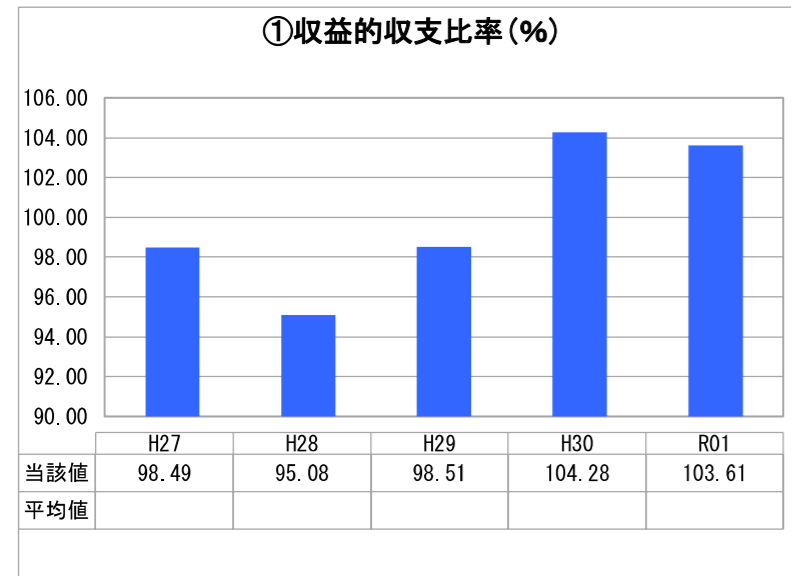
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.50	97.74	2,145

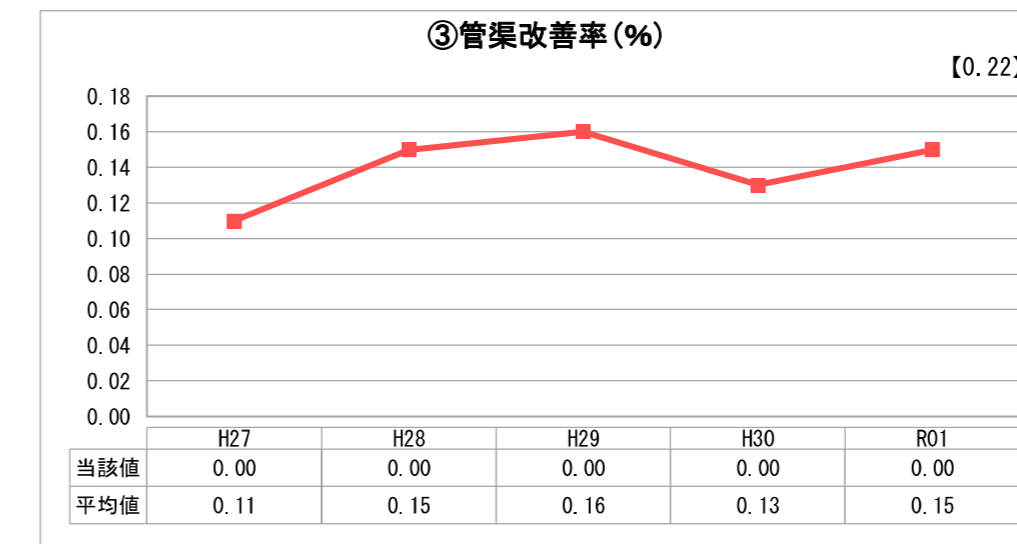
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,920	38.64	489.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,541	0.99	2,566.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
総収益、総費用及び地方債償還金のいずれも大きな変化はなく、比率は前年度とほとんど変わらない。
- ④企業債残高対事業規模比率  
新規借入額が償還額を超えないよう抑制していることから地方債残高は減少傾向であるため、比率は減少傾向である。
- ⑤経費回収率  
地方債の償還が進んでおり、昨年度より、汚水資本費が少ない一方で、料金収入及び汚水維持管理費は昨年度と同等なので、比率は上昇した。
- ⑥汚水処理原価  
⑤経費回収率と同様の理由で減少傾向である。
- ⑧水洗化率  
例年と同レベルで推移している。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られない。

### 全体総括

平成30年度と比べ収益的収支比率は同程度、経費回収率が12.95%向上し、いずれも100%を超えている。今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努め、効率的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県 吉見町

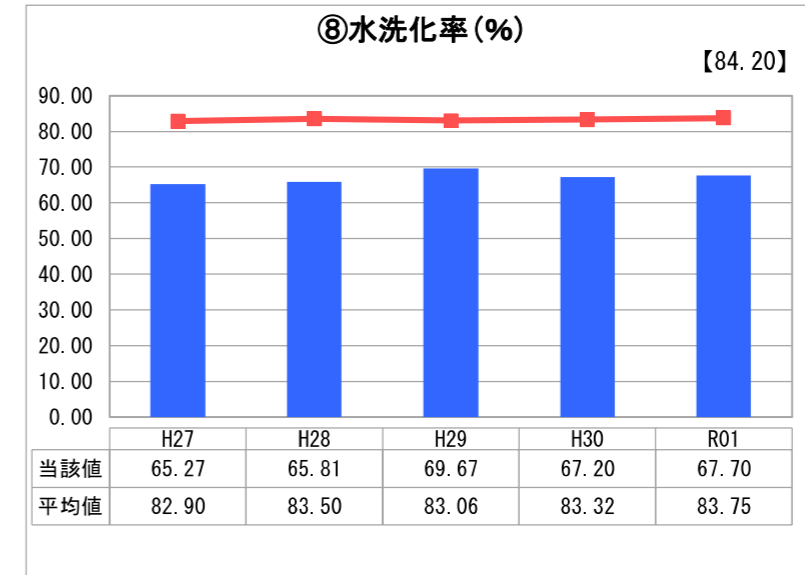
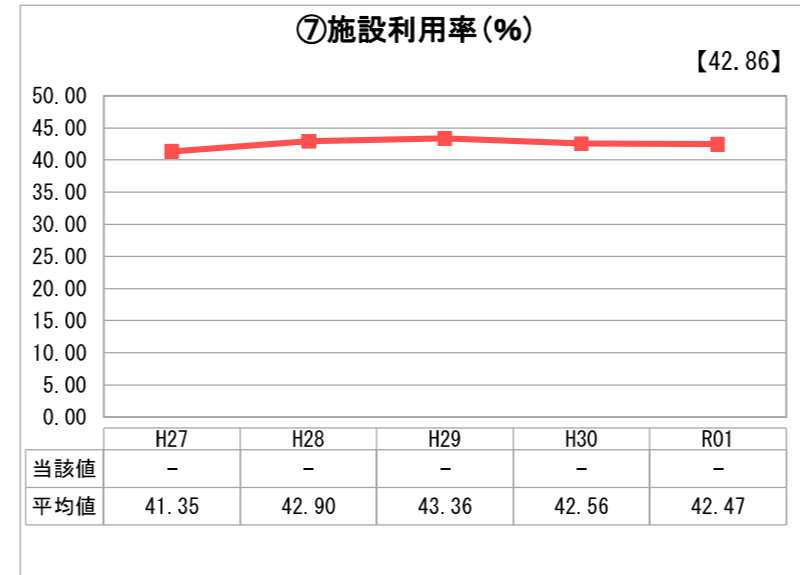
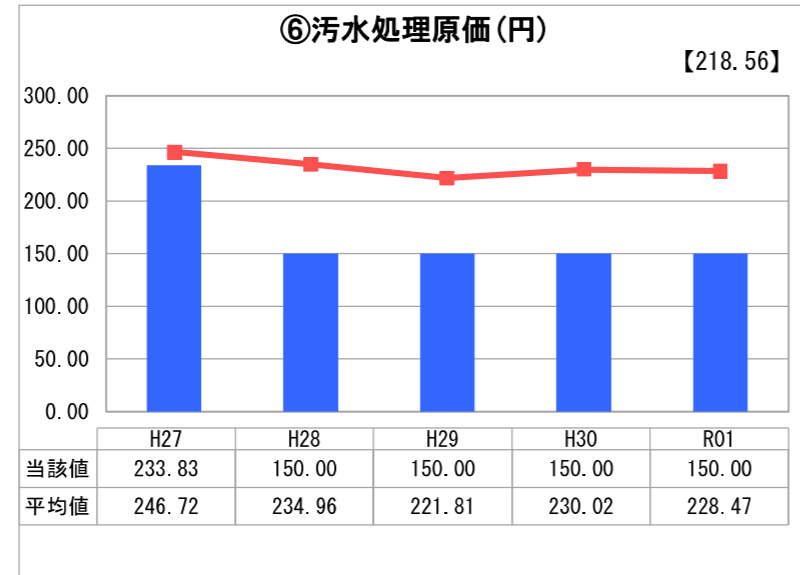
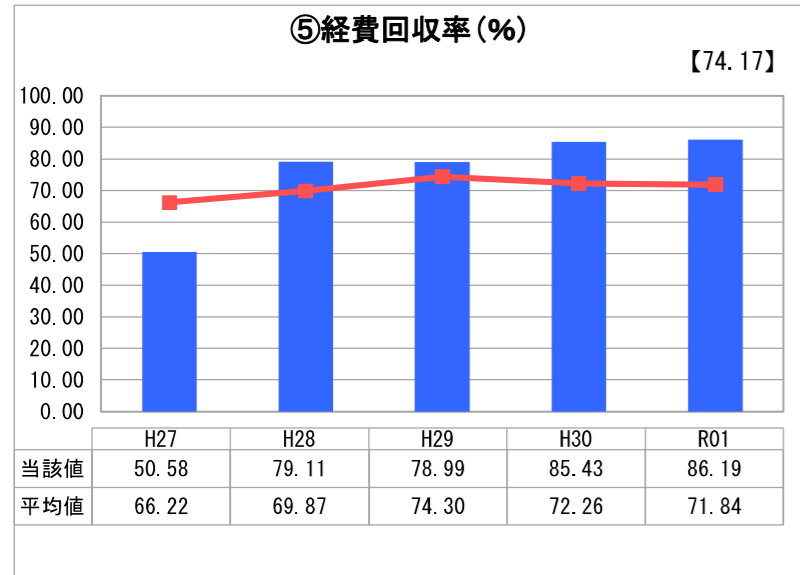
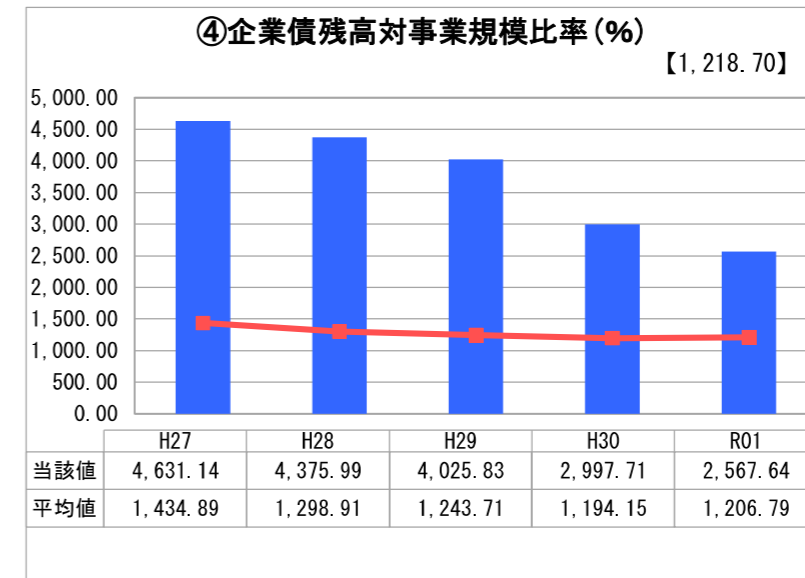
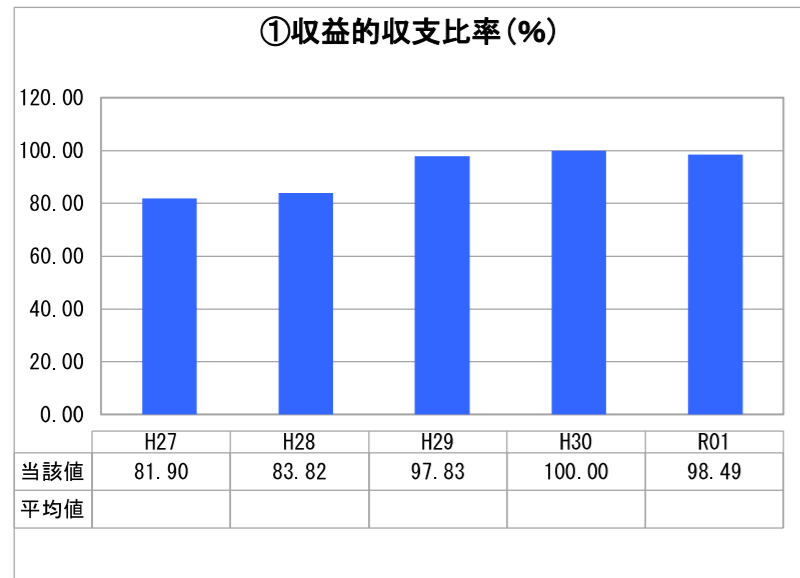
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.36	98.05	2,145

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,920	38.64	489.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,328	1.08	2,155.56

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
地方債償還金がわずかに上昇したため、わずかに比率が下がった。

④企業債残高対事業規模比率  
地方債現在高の減少及び一般会計負担額の増加により減少した。

⑤経費回収率  
使用料収入は増加したものの、汚水処理費も同様に増加したため、比率は昨年度とほぼ同じである。

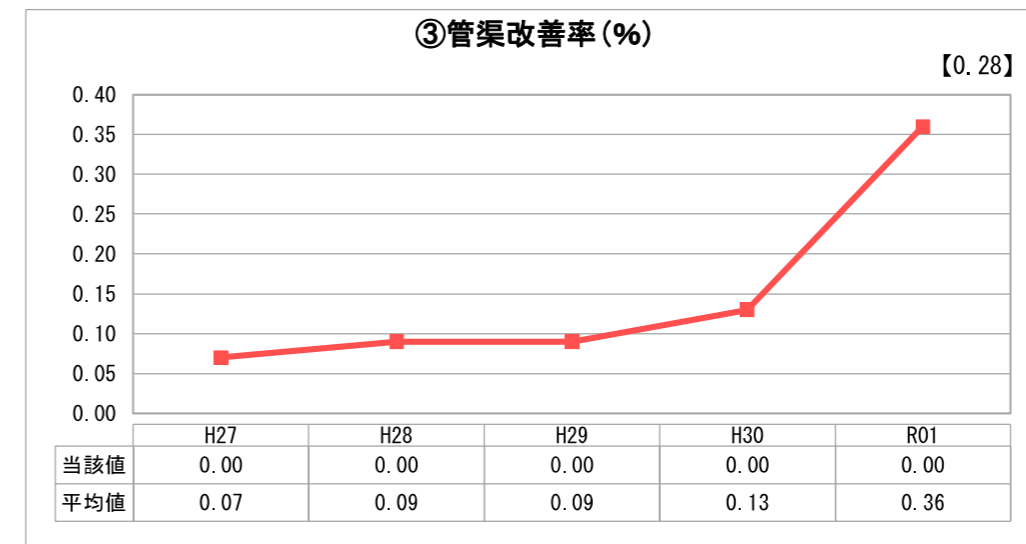
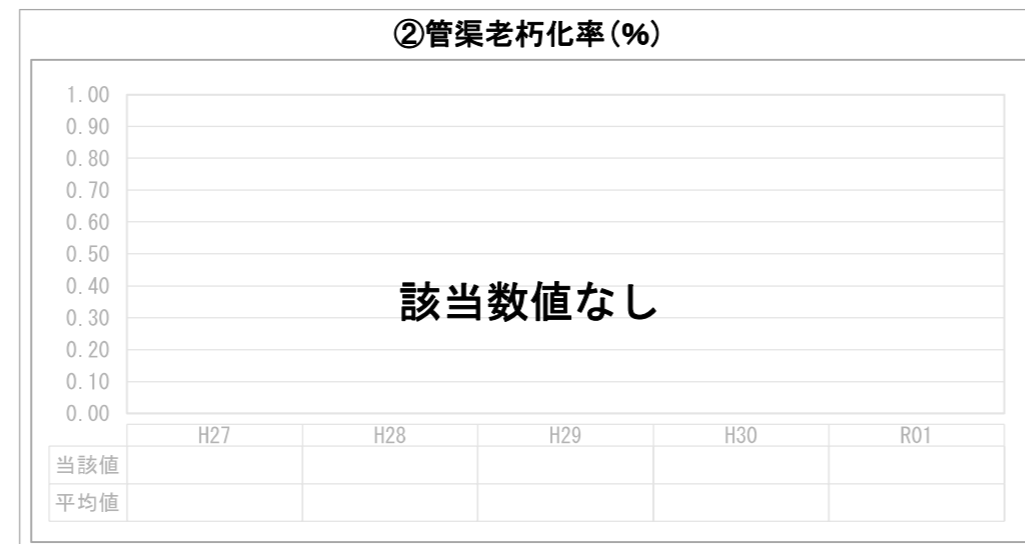
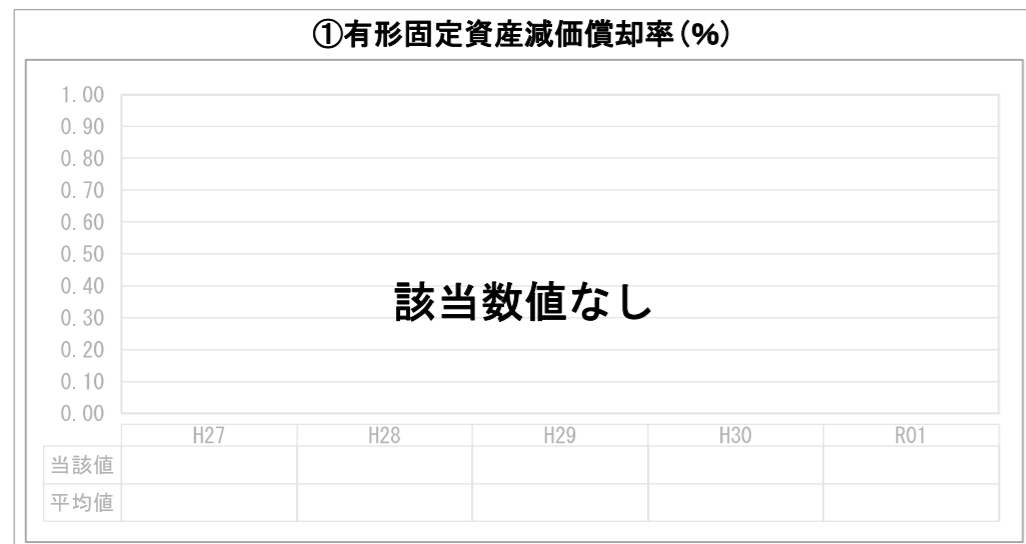
⑥汚水処理原価  
使用量が増加したものの、汚水処理費も増加しているため、例年どおりの原価である。

⑧水洗化率  
接続件数は増加しているものの、区域内人口が減少しているため、比率にほとんど変化はない。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ、管渠等の老朽化は見られない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

収益的収支比率や経費回収率など昨年度とほぼ同様の水準である。企業債残高対事業規模比率は減少傾向を維持している。経営状況の悪化は見られないが、今後も接続促進や経費節減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

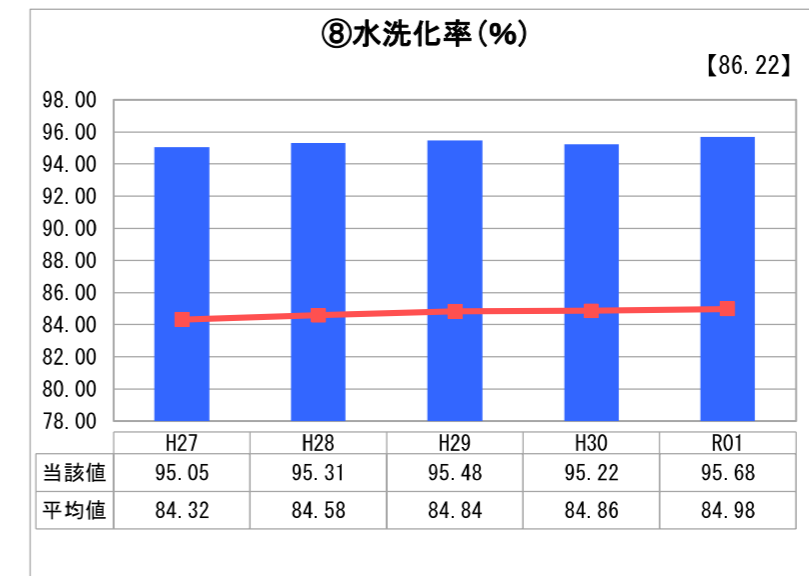
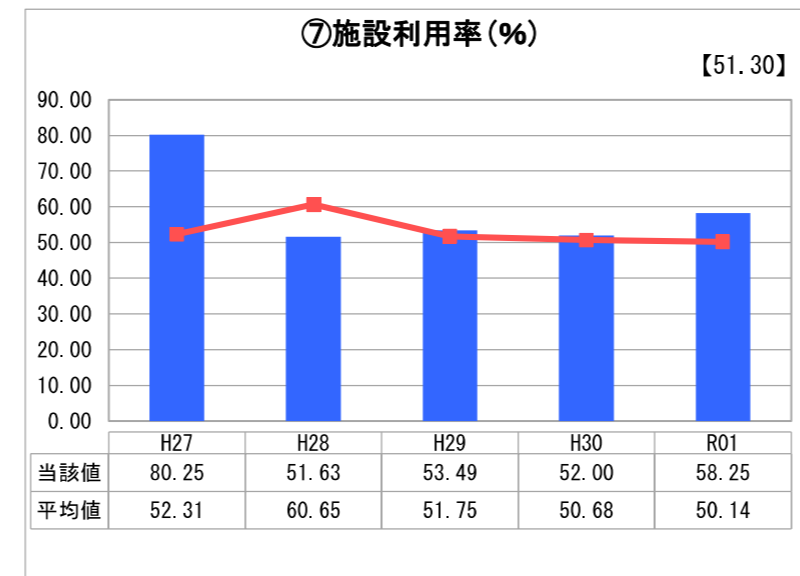
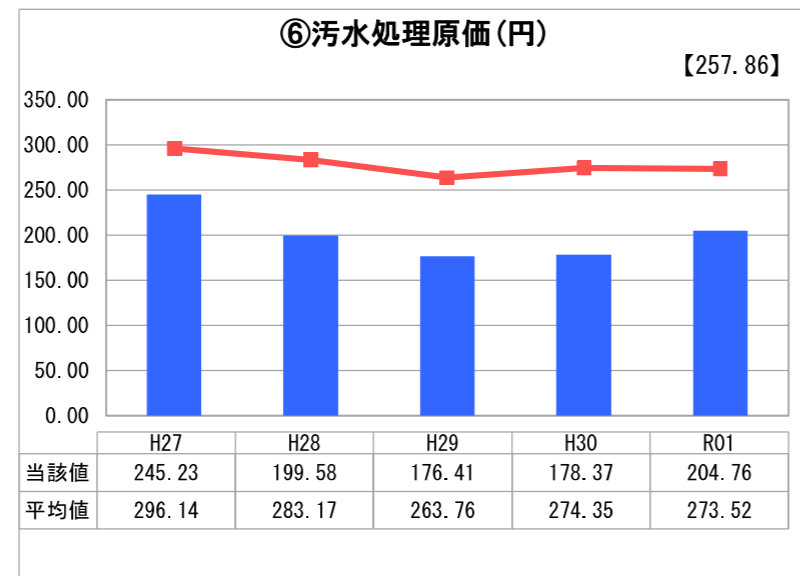
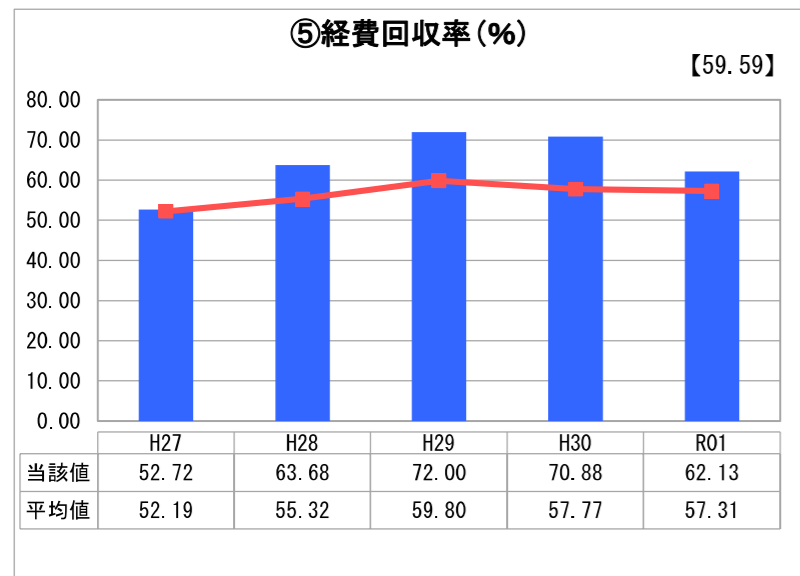
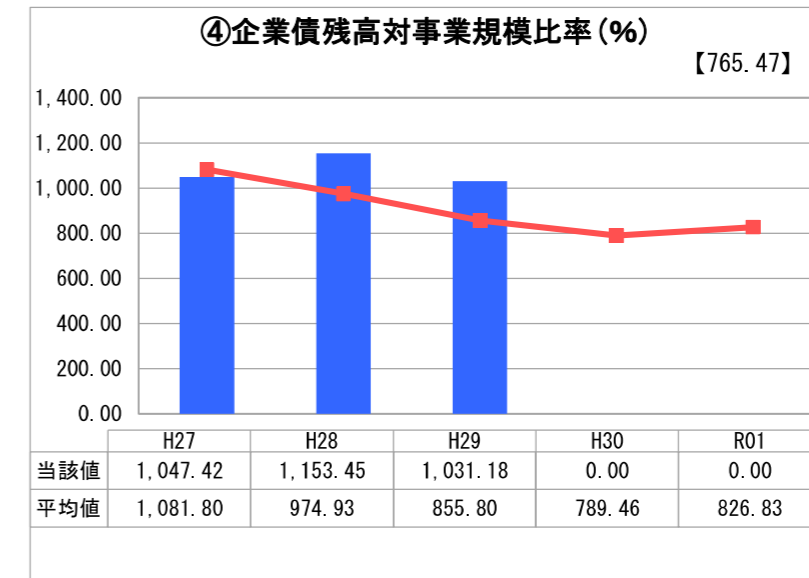
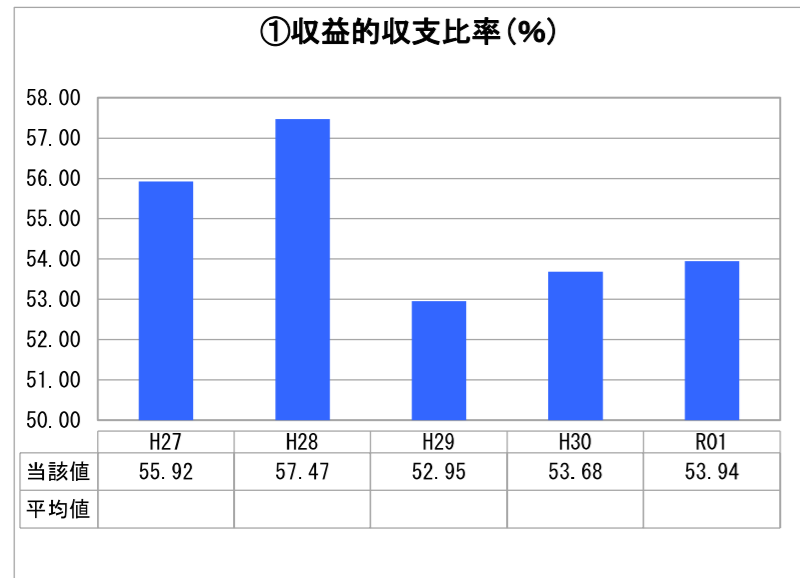
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.90	100.00	2,145

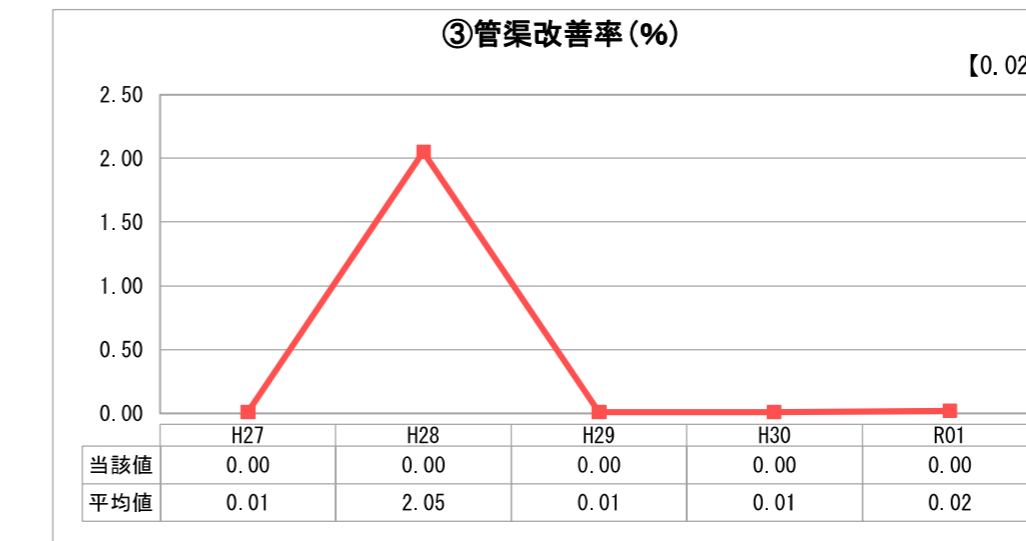
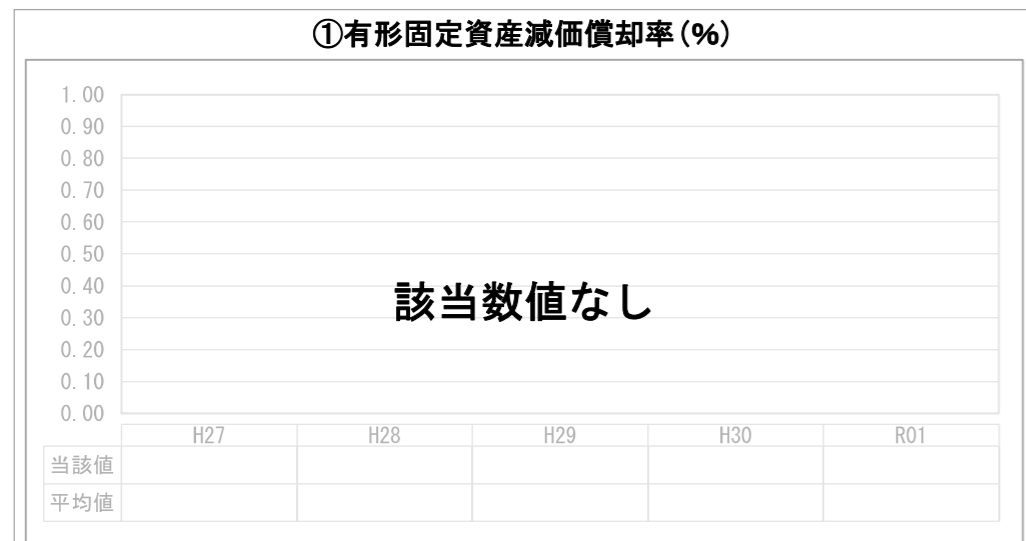
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,920	38.64	489.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,253	7.73	679.56

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率 地方債償還金が増加しているため、比率が上昇した。  
 ④企業債残高対事業規模比率 一般会計負担により賄われている。  
 ⑤経費回収率 全国平均・類似団体平均値を上回っている。令和元年度から一般会計施設を統合したため、経費回収率が下降した。  
 ⑥汚水処理原価 全国平均・類似団体平均値を下回っている。令和元年度から一般会計施設を統合したため、汚水処理原価が上昇した。  
 ⑦施設利用率 全国平均・類似団体平均値を上回っている。令和元年度から一般会計施設を統合したため、施設利用率が上昇した。  
 ⑧水洗化率 全国平均・類似団体平均値を上回っている。令和元年度から一般会計施設を統合したため、水洗化率は上昇した。

### 2. 老朽化の状況について

供用を開始してから30年を経過している区域があるため、最適整備構想等を策定し対応して行く予定である。

### 全体総括

各指標とも、全国平均、類似団体平均値により良いが、改善に向け、接続の推進を行っていく。今後も計画的に安定した事業運営ができるよう努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

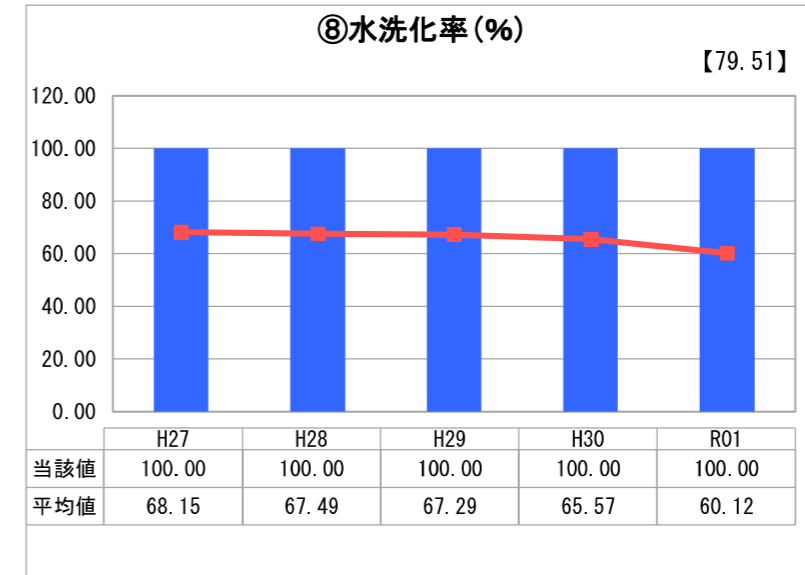
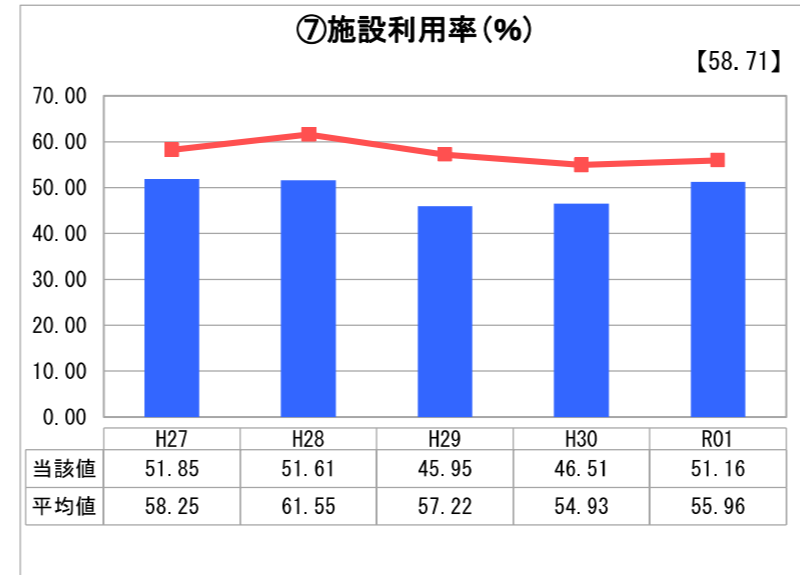
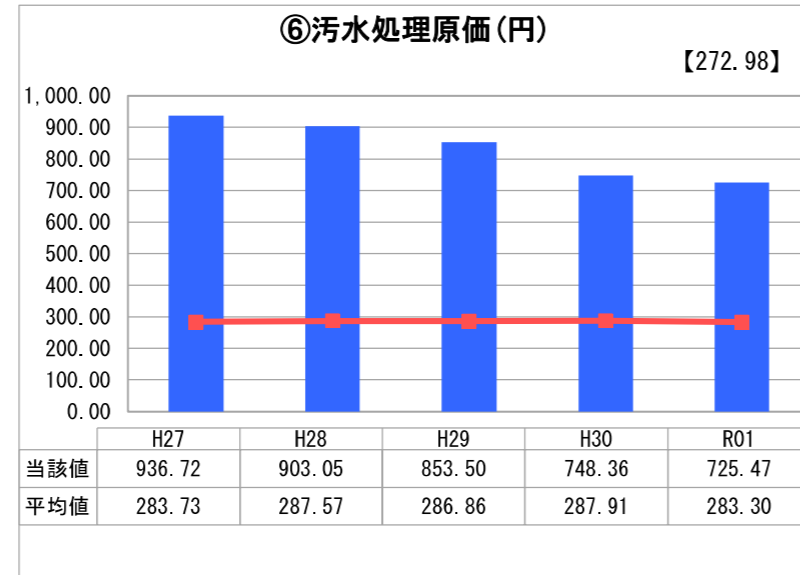
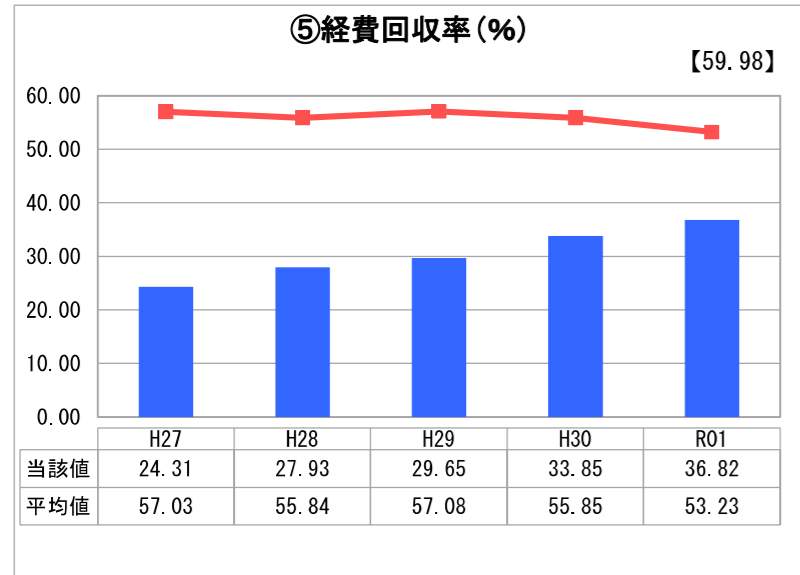
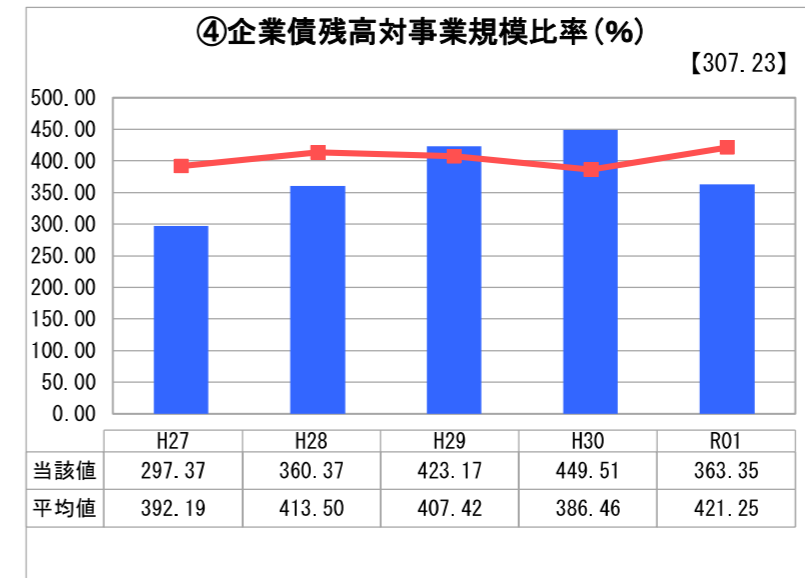
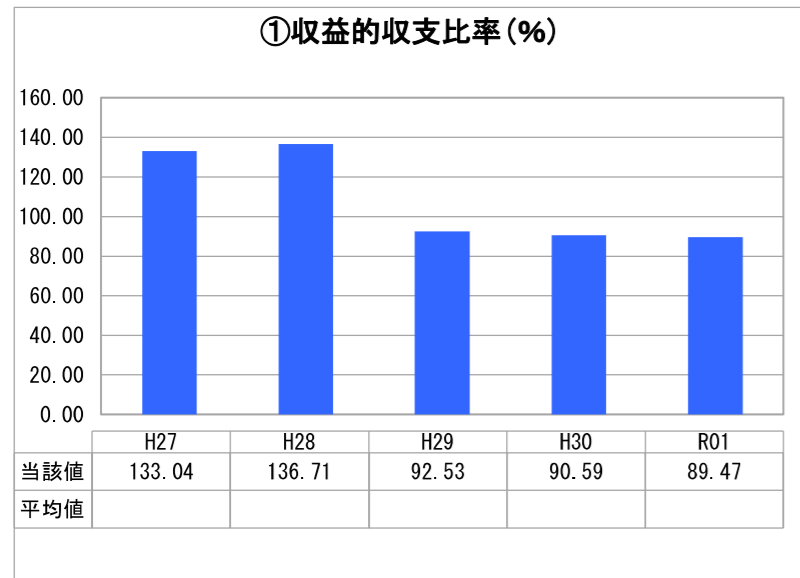
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.45	100.00	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,920	38.64	489.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
85	0.01	8,500.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

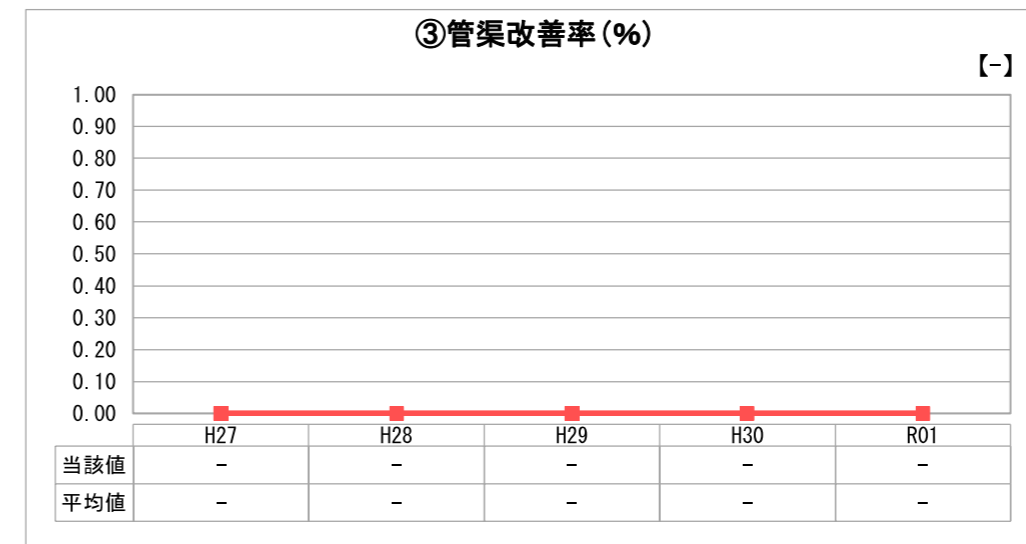
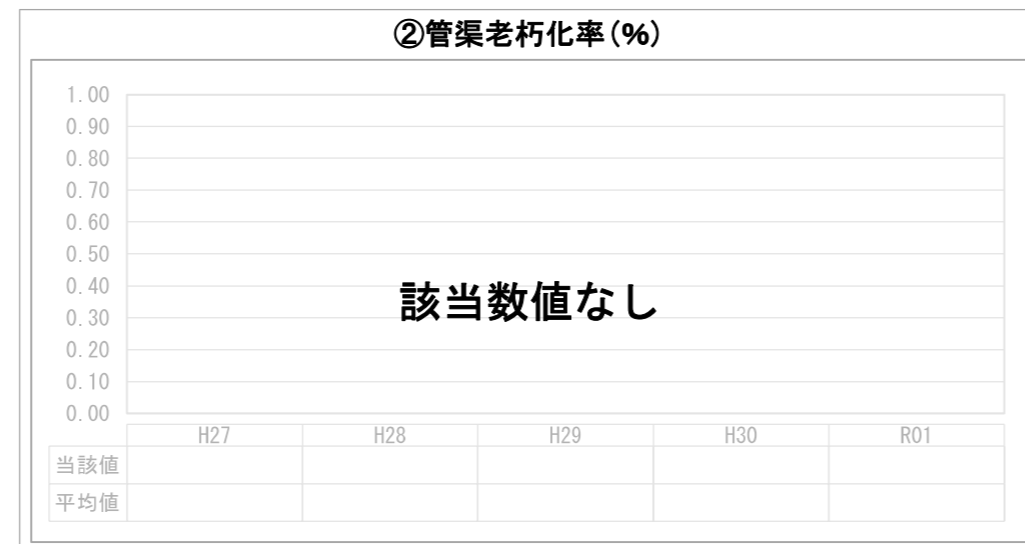
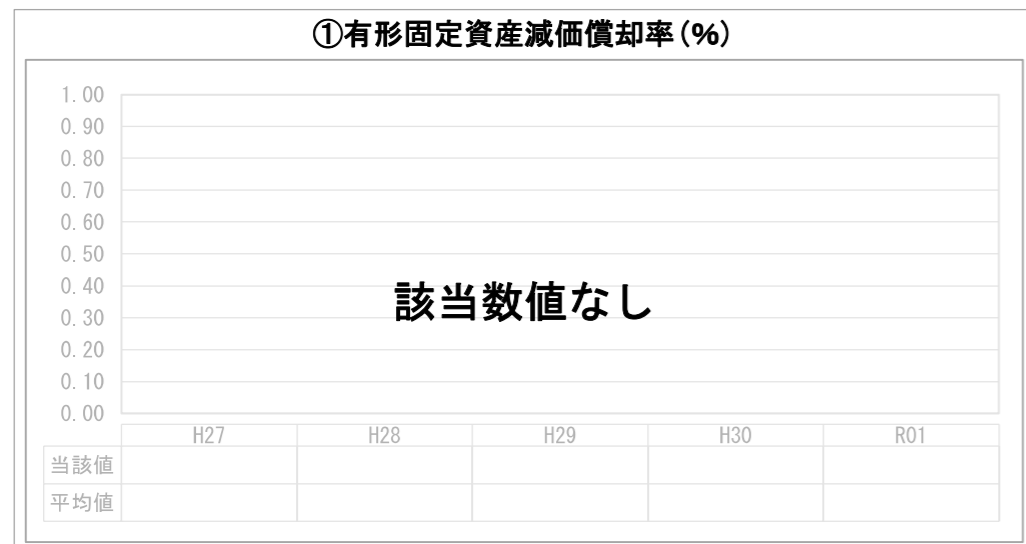
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
事業進捗により地方債償還金が増加していることにより100%を下回っている。
- ④企業債残高対事業規模比率  
全国平均・類似団体平均値を下回っている。これは今年度の企業債借入が無かったことにより残高が減少したためである。
- ⑤経費回収率  
全国平均・類似団体平均値を下回っているが、事業の進捗に伴い使用料が増加しているため上昇している。
- ⑥汚水処理原価  
全国平均・類似団体平均値を上回っているが、事業進捗により有収水量が増えたため下降している。
- ⑦施設利用率  
全国平均・類似団体平均値を下回っており、処理水量の増加により増加している。
- ⑧水洗化率  
設置後にすべて使用開始しているため、100%となっている。

### 2. 老朽化の状況について

市町村整備型浄化槽整備事業の開始から間もないため該当はない。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

供用開始間もないため、全国平均・類似団体平均値に満たない項目があるが、今後も計画的に安定した事業運営ができるよう努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。